



2026年3月期 上半期

2025年4月1日～2025年9月30日

証券コード：2121

GO  
TOGETHER

MIXI × POINTSBET

MIXI REPORT

## MESSAGE

ごあいさつ

MESSAGE ◀ TOPICS ▶ INFORMATION ▶

### 2026年3月期第2四半期(中間期)の業績

当第2四半期累計期間(2025年4-9月)の連結業績は、売上高674億円(前年同期比2.0%減)、EBITDA(償却前営業利益)95億円(同13.7%減)、営業利益72億円(同17.5%減)、親会社株主に帰属する中間純利益49億円(同6.2%減)となりました。

スポーツセグメントの売上高は、前年同期比で増収となりました。ベッティング事業は「TIPSTAR」のオンライン車券販売高、株式会社ネットドリーマーズのeコマース事業等の売上が伸長しました。観戦事業は、前年の「LaLa arena TOKYO-BAY」の開業により「千葉ジェッツ」のチケット販売やスポンサー収入が伸長しました。なお、EBITDAは前年同期とほぼ同水準ですが、豪州のベッティング企業 PointsBet Holdings Limited (PointsBet社)の買収に伴う一時費用を除くと前年同期を上回って推移しております。

ライフスタイルセグメントの売上高は、「家族アルバムみてね」の注力商材(みてねプレミアム、写真プリント、みてねみまもりGPS)がけん引し、前年に引き続き大きく増収しております。EBITDAは、当第2四半期で初の黒字化を実現いたしました。

デジタルエンターテインメントセグメントは、「モンスターライク」のMAU(月間アクティブユーザー数)が減少したことで、前年同期比で減収となりました。一方、EBITDAはコスト効率化により収益性が改善し増益となりました。

投資セグメントは、投資先ファンドからの分配金収入がありました。前年同期に大型案件の株式売却益を計上していたため、減収減益となりました。

### 今後の事業成長と企業価値向上への取り組みの進捗状況

前期末の決算発表で掲げた「事業成長と企業価値向上に向けた取り組み」に基づき、今期はM&Aの実行とAI活用を推進しました。AIはサービス品質や業務効率の改善を通じて事業成長を支える重要な柱となっており、各セグメントでその効果が表れております。

スポーツセグメントでは、豪州のベッティング企業 PointsBet社を連結子会社化し、グローバル展開に向けた取り組みが進んでいます。国内では、「TIPSTAR」が今期



代表取締役社長  
上級執行役員 CEO

木村弘毅

からマーケティング強化やアプリ刷新を進め、MAUが約7割増加しました。AIを活用したユーザー分類やレース提案の高度化も進み、利便性と体験価値が向上しています。こうした取り組みを踏まえ、引き続き売上規模の拡大を目指してまいります。

ライフスタイルセグメントでは、「家族アルバム みてね」が注力商材を中心に堅調に推移しています。プレミアムプランやGPSの売上伸長に加え、AIを活用した自然言語による画像検索の検証も進めており、サービスの利便性向上にも取り組んでいます。また、海外ユーザー獲得への投資も継続しており、利用者数は日本と同様に海外でも着実に増加しております。

デジタルエンターテインメントセグメントでは、「モンスターストライク」の長寿化に向け、IP施策や地上波テレビアニメ放映などの接点づくりを進め、話題性の維持に努めました。海外では、インド最大級のカルチャーイベントに出展するなど、今期中のリリースに向けて準備を進めております。

AI活用の取り組みも進展しております。先進的なAI技術を誰もが使える環境が整い、全社員の99%が業務にAIを取り入れております。また、サービス開発の自動化や会計・知財などバックオフィス業務の効率化も進み、幅広い領域で効果が表れています。こうした取り組みにより、今期は10億円規模のコスト削減を見込んでおります。

当社は、今後もAIを活用した業務効率化とサービス品質の向上に取り組みながら、持続的な事業成長を実現してまいります。

## 株主の皆さまへ

通期業績予想につきましては、売上は、M&Aで取得したPointsBet社の半期分の業績取り込みに加え、スポーツセグメントおよび投資セグメントの好調な上期実績を反映し、上方修正いたしました。EBITDAも、各セグメントの増収効果に加えAI活用によるコスト削減を織り込み、上方修正しております。一方で営業利益は、PointsBet社のM&Aに係るのれん等の償却の増加を見込むため据え置きといたしました。詳細は11月14日開示の「[通期連結業績予想の修正に関するお知らせ](#)」をご覧ください。

配当につきましては、連結配当性向20%または株主資本配当率(DOE)5%を目安に行うことを基本方針としております。今期におきましては、DOE5%を目安にしており、期初計画の年間配当金120円(中間配当60円含む)から変更はありません。

引き続き、株主の皆さまへの積極的な利益還元に努めてまいります。株主の皆さまには変わらぬご指導とご支援をお願い申し上げます。

木村弘毅

## GROUP REPORT

### 生成AIを“使いこなす”MIXI

当社では、業務に応じて最適な生成AIを使い分け、全社でのAI活用を加速しています。2025年3月より導入した企業向け生成AIサービス「ChatGPT Enterprise」により、月間推定約17,600時間(1人あたり約11時間)の業務時間削減を実現しました\*。こうした取り組みにより、今期は10億円のコスト削減を見込んでいます。

また、Google Cloudの生成AIプラットフォーム「Gemini Enterprise」を国内で初導入し、その事例を最新技術やソリューションを紹介する日本最大のクラウドカンファレンス「Google Cloud Next Tokyo 25」で紹介しました。

さらに、コーディングを100%AIで実施したサービスも登場し、開発プロセスの革新が本格的に始まっています。



\*AIの取り組みの詳細は7月7日のリリース「MIXI、Google Cloudの「Google Agentspace」を全社導入」および8月21日のリリース「MIXI、ChatGPT Enterpriseの全社活用で月間約17,600時間を削減」をご覧ください。  
<https://mixi.co.jp/news/2025/0707/42850/>  
<https://mixi.co.jp/news/2025/0821/44093/>

## SPORTS

スポーツ

### PointsBet Holdings Limitedを子会社化

<https://mixi.co.jp/ir/docs/earnings/>

2025年9月、当社は、豪州およびカナダでベッティング事業を展開するPointsBet Holdings Limited(PointsBet社)の株式を66.4%取得し、新たにグループに迎えました。PointsBet社は、年々売上・利益を伸ばしており、直近期は連結EBITDAで黒字化しています。

6期連続EBITDA黒字を達成している同社の豪州事業は、若者に人気のスポーツ(バスケットボールやフットボール)や伝統的で規模の大きなレーシング(競馬など)



を軸に、安定した成長を続けています。一方、カナダ事業では、各州でオンラインベッティング解禁に向けた法整備が進んでおり、スポーツとiGaming※の両市場で高い成長性が見込まれています。

このような成長著しいPointsBet社をグループに迎えることができた最大の要因は、両社の間に築かれた信頼関係にあります。TOBの期間中には競合の動きもありましたが、PointsBet社の取締役会が「MIXIが最も信頼できるパートナーである」と一貫して支持してくれたことで、M&Aを実現することができました。当社より3名の役員を派遣し、ガバナンス体制の整備や連携体制の強化を進めるなど、PMIを推進しています。

PointsBet社は、豪州市場で確立した高いブランド力と、独自の技術によってユーザー体験を磨き続ける優れた企業です。一方、当社は「モンスターストライク」や「TIPSTAR」の運営を通じて、ソーシャルベッティングの知見やバイラルによるサービス拡大のノウハウを蓄積しています。両社の強みを掛け合わせ、豪州、カナダ、そして日本市場において、ソーシャルベッティングの拡大を進めてまいります。

※iGamingは、2022年にオンタリオ州で民間事業者により解禁されました。オンラインスロット、テーブルゲーム、ライブディーラー、ビデオポーカーが含まれます。



### 「千葉ジェッツ」、PUMAとパートナーシップ契約

[https://chibajets.jp/lp/uniform\\_2025\\_26/](https://chibajets.jp/lp/uniform_2025_26/)

「千葉ジェッツ」は、B.LEAGUEチームとして初めて世界的スポーツブランドPUMAとパートナーシップ契約を締結しました。りそなグループB.LEAGUE 2025-26シーズンより、PUMAが提供する新ユニフォームを着用します。新ユニフォームは、伝統に根ざした普遍的なスタイルを追求し、長く愛され、受け継がれるシンプルさを重視して作られました。「千葉ジェッツ」らしさ、PUMAらしさが共存し、シンプルなものにもリッチさを感じるデザインとなっています。新たなユニフォームをまとってリーグ制覇に向けて躍動する「千葉ジェッツ」にご期待ください。



## LIFESTYLE

ライフスタイル

### 「みてね」フォトグッズ第一弾 「アクリルスタンド」販売開始

<https://mixi.co.jp/news/2025/0916/44794/>



2015年4月のサービス開始以来、多くのご家族にご利用いただく「家族アルバム みてね」が、ご家族の様々な「思い出の記録」をカタチに変える「フォトグッズ」の展開を開始しました。その第一弾となったのが、写真と豊富な背景デザインを組み合わせ、七五三・誕生日・ニューボーンといったお子さまやご家族の「ハレの日」を鮮やかに彩る「アクリルスタンド」です。商品開発の舞台裏が「ガイアの夜明け（テレビ東京系）」で取り上げられるなど注目を集めており、売上も好調な滑り出しとなっています。

## DIGITAL ENTERTAINMENT

デジタルエンターテインメント

### 「モンスターストライク」12周年を迎え、 アニメ放送とイベントでIP価値を拡大

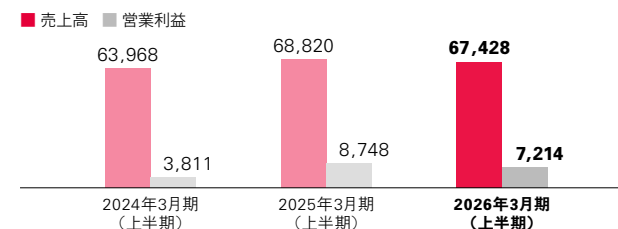
<https://mixi.co.jp/news/2025/0904/44634/>

12周年を迎えた「モンスターストライク」は、より多くの方楽しんでいただけるよう、話題づくりとタッチポイントの拡大に力を入れています。10月21日からは、シリーズ初となる地上波テレビアニメ「モンスターストライク デッドバースリロード」の放送が始まり、作品の世界観をより多くの方に届けています。

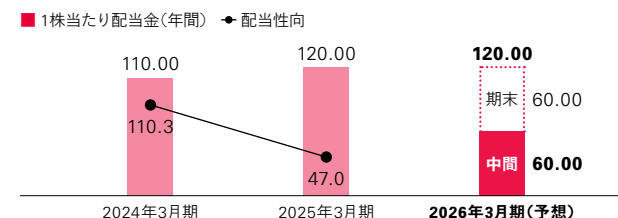
また、12周年を記念し、新キャラクターの販売や限定クエストの実施、企業とのコラボレーションなど、多彩な企画を展開しました。アニメ放送との相乗効果で、オンライン・オフラインの両面から盛り上がりを生み出しています。今後もメディアミックス等を通じて、長く愛されるIPとしてさらなる成長を目指します。



売上高(百万円)/営業利益(百万円)



配当金(円)/配当性向(%)



当社HPのIR情報において、投資家さま向けに様々な情報を掲載しております。ぜひご覧ください。<https://mixi.co.jp/ir/>

### 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 郵便物送付先: 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話照会先: ☎0120-782-031 インターネットホームページ: URL: <a href="https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
公告の方法	電子公告 <a href="http://www.mixi.co.jp/">http://www.mixi.co.jp/</a> ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。